

102-262

問題文

50歳女性。発熱、咽頭痛を主訴として受診し、入院することとなった。入院時に薬剤師が持参薬を確認したところ、下記の薬剤を服用していることが分かった。服薬コンプライアンスは良好であった。

入院時検査値：体温 38.7℃、血圧 108/72mmHg、赤血球数 $180 \times 10^4 / \mu\text{L}$ 、白血球数 2,200/ μL 、血小板 $3 \times 10^4 / \mu\text{L}$ 、血清クレアチニン値 0.7mg/dL、BUN 18mg/dL、AST 25IU/L、ALT 30IU/L、空腹時血糖値 96mg/dL、Na 140mEq/L、K 4.2mEq/L、Mg 2mEq/L、胸部X線検査では肺に異常所見なし。

持参薬の内容

(薬袋1)

リセドロン酸 Na 錠 17.5 mg 1 回 1 錠 (1 H 1 錠)
毎週月曜日 1 H 1 回 朝起床時 2 日分
(投与実日数)

(薬袋2)

プレドニゾロン錠 5 mg 1 回半錠 (1 H 半錠)
1 H 1 回 朝食後 14 日分

(薬袋3)

メトトレキサートカプセル 2 mg 1 回 4 カプセル (1 H 8 カプセル)
毎週月曜日 1 H 2 回 朝夕食後 2 日分
(投与実日数)

(薬袋4)

酪酸菌錠 (宮入菌として) 20 mg 1 回 1 錠 (1 H 3 錠)
スクラルファート細粒 90% 1 回 1 g (1 H 3 g)
1 H 3 回 朝昼夕食後 14 日分

問262

薬剤師は、この女性の検査所見より、服用中の薬剤の副作用を疑った。原因となった可能性の高い持参薬はどれか。1つ選べ。

- 1. リセドロン酸Na錠17.5mg
- 2. プレドニゾロン錠5mg
- 3. メトトレキサートカプセル2mg
- 4. 酪酸菌錠(宮入菌として)20mg
- 5. スクラルファート細粒90%

問263

前問の「原因となった可能性の高い持参薬」の標的分子として正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. グルココルチコイド受容体
- 2. シクロオキシゲナーゼ
- 3. カルシニューリン
- 4. ジヒドロ葉酸還元酵素
- 5. ファルネシルピロリン酸合成酵素

解答

問262：3問263：4

解説

問262

問263 とまとめて解説します。

問263

検査所見から、発熱、及び、血球数の減少が見て取れます。

持参薬からはリセドロン酸 → ビスホスホネート系、骨粗しょう症治療薬、プレドニゾロン → ステロイド、メトトレキサート（MTX）→ 免疫抑制剤の一種。リウマチか？ 整腸剤 → 消化器系に違和感とか？ という所がまず連想され、MTX + ステロイド ならリウマチだろうなあ、と印象を持つのではないのでしょうか。

血球減少症が代表的副作用である、メトトレキサートが原因である可能性が高いと考えられます。メトトレキサートは葉酸代謝拮抗薬です。免疫抑制剤の一種です。ジヒドロ葉酸還元酵素を阻害します。

以上より、問262 の正解は 3

問263 の正解は 4 です。